

①研究業績

1. 著書

・「戦後の創作活動から見る、台湾人作家にとっての「日本語文学—邱永漢・黄靈芝を例として」垂水千恵、郭南燕編『バイリンガルな日本語文学—多言語多文化のあいだ』東京：三元社、275-291頁、2013年6月

2. 論文

・「紀大偉は如何に大島渚を受容したか—「儀式」を中心として—」垂水千恵、横浜国立大学留学生センター教育研究論集、査読有、第21号、53-71頁、2013年3月

・「邱妙津作品における「鱧」という表象の源泉をめぐって—台湾現代文学における日本文学の「引用」—」垂水千恵、横浜国立大学留学生センター教育研究論集、査読有、第20号、1-15頁、2012年3月

3. 科研費実績

・「基盤研究 (C)」23520421、平成23年度～平成25年度、「台湾現代文学におけるセクシュアリティおよび日本表象のポリティクス」、研究代表者・四方田千恵（垂水千恵）、直接経費総額370万円。

4. 学会発表・他

・「日籍作家所描繪的新竹—以日丈影吉〈騷動的屍體〉為中心—」垂水千恵、國立新竹教育大學中國語文學系與新竹市政府主催「第1屆台湾「竹塹学」國際學術研討会」2013年11月8、9日（招聘）

・「表象之鏡：當代台灣／日本如何描繪彼此—以吉田修一《路》及魏德聖《海角七號》為中心—」垂水千恵、2013年度韓国中語中文学会聯合國際學術大会」2013年11月1-3日（招聘）

・「圓桌論壇」垂水千恵、國立台湾師範大學主催「第八屆台灣文化國際學術研討會」第1屆台灣2013年9月5-6日、（招待講演）

・「1930年代日本文學對「野蠻」的共鳴—以大鹿卓《野蠻人》、谷崎潤一郎《武州公密話》、山部歌津子《番人萊沙》為中心—」垂水千恵、國立政治大學邀請國際傑出教學及研究人才計

画（招待講演）、2013年3月5日

・「『世界文學』與文化政治—以張愛玲〈色，戒〉の日韓翻譯為例」黄善美・垂水千恵、国立台湾大学主催「文化流動與知識傳播——方法論與實例研究国際學術研討会」2012年11月9-10日（招聘）

・「台湾という身体の「再現」—真杉静枝を書くということ—」垂水千恵、中央研究院人文社会科学研究中心亜太地域研究專題中心主催；『日本文学中的台湾』国際學術研討会」2011年10月7日（招聘）

①社会活動

- ・日本台湾学会第8期常任理事（2013.5～現在に至る）
- ・日本台湾学会第7期常任理事（2011.6～2013.5）
- ・日本台湾学会総務担当理事（2011.6～現在に至る）

②学内活動

- ・世宗プログラム運営委員（2013.4～現在に至る）
- ・世宗プログラム準備委員会委員（2011.10～2013.3）
- ・日韓理工系プログラムWG委員（2010.4～現在に至る）

① 研究業績

1. 著書

- ・『欧州における戦前の日本語講座—実態と背景』風間書房, 2010
- ・「ウィーン領事養成学校の日本語講師 Do Cyong-Ho について—フィンランドと日本の資料による新解釈—」(小川誉子美・重盛千香子) 『日本語・日本語教育の研究 — その今、その歴史』(加藤好崇・新内康子・平高史也・関正昭 編著) スリーエーネットワーク 2013

2. 論文

- ・「日本語講師北山淳友の事績—戦間期の対独時代を中心に—」『日本学刊』14号 香港日本語教育研究会, pp. 4-15, 2011
- ・「黎明期日本語講座の目的—ヨーロッパ・中東における事例から—」“Cairo Symposium on Japan Studies 2010” pp. 20-28, 2011

3. 科研費実績

- ・研究成果公開促進費：学術図書、平成21年度、課題番号：215069
研究課題名：『欧州における戦前の日本語講座—実態と背景』
- ・基盤研究（C）平成21年度～平成23年度、課題番号21520531【研究代表者】
研究課題名：日本語教育史テキスト作成に向けた基礎的研究
- ・基盤研究（C）平成24年度～平成26年度、課題番号24520572【研究代表者】
研究課題名：日本語教育史のコンテンツの再構成と資料公開に関する基礎的研究

4. 学会発表等

(招待)

- ・Do Cyong-Ho as Lecturer for Japanese Language in Vienna: Materials from Finland and Japan
New findings on early informal exchange and personal relations between Koreans and citizens of either the Austrian-Hungarian monarchy or its Successor states, Yoshimi Ogawa, Chikako SHIGEMORI BUČAR, University of Vienna, Austria, 2012
- ・「中級へ繋げる初級」東京大学日本語教育講演会, 東京大学, 2011
- ・「日本語文法と国文法」2011年日本語教育カリキュラム改革及び教材開発研究会講演・ワークショップ, 華東師範大学, 2011
- ・「初級文法項目を再考する—重要項目の提示のしかた—」香港日本語教育研究会・国際交流基金主催講演会「香港日本語教育セミナー—学習者心理と言語使用場面を重視した日本語教授法」, 「文法項目の導入—初級から中級へ—」同ワークショップ, 香港大專業進修学院 保良局社區書院, 2010

(学会発表・海外)

- ・ Japanese teachers in prewar Italy and France :Insight from various materials, Yoshimi OGAWA,EAJRS 2013 Paris conference, European Association of Japanese Resource Specialists, Bibliothèque universitaire des langues et civilisations, France,2013
- ・ The Japanese language instruction in Germany and Austria before 1945: knowledge and information obtained by multifaceted research, EAJRS 2012, European, Association of Japanese Resource Specialists, Bridging the gaps past and present Japanese resources in the digital age, Yoshimi OGAWA, Chikako SHIGEMORI BUČAR, Staatsbibliothek zu Berlin, Germany, 2012
- ・ 「日本語教育史のテキスト作成に向けた基礎的考察」日本語教育国際大会, 台湾政治大学, 2010

(学会パネル発表・国内)

- ・ 「資料が語る日語講座開設期と動機の多様性—ヨーロッパを事例として—」「日本語教育史研究の新しい視座と可能性—発掘された資料が語るもの—」『2010年度日本語教育学会春季大会』河路由佳・嶋津拓・長谷川恒夫, 早稲田大学, 2010

② 社会活動

- ・ 科学研究費委員会専門委員、日本学術振興会、2010年6月～10月, 2011年6～10月
- ・ 日本語教育学会大会委員 2007年6月～2011年5月
- ・ 日本総合学会理事 2000年～現在に至る
- ・ 日本ウラル学会理事 2010年6月～現在に至る
- ・ 日本語教育学会研究集会委員 2011年6月～現在に至る
- ・ 日本語教育史研究会副会長 2013年～現在に至る

③ 学内活動

2013年度

- ・ YCCS特別プログラム運営委員会委員 2012年8月～2014年3月
- ・ YCCS特別プログラム教務厚生委員会委員 2012年8月～2014年3月
- ・ 男女参画推進委員会 2012年4月～2014年3月
- ・ 機構内「ときわの杜論叢」論集委員 2013年度
- ・ センター内教務委員 2013年4月～現在

①研究業績

2. 論文

- ・「日本人学生とアメリカ人留学生による英語を介した共同プログラムに関する報告」依田泉・鈴木辰一・中川健司・中西貴行・C.Bussinger・R.Betts・柳田恵美子・渡邊真由美『常磐国際 紀要』(17) pp.75-90, 2013年3月
- ・「新カリキュラム介護福祉士国家試験受験に向けた漢字学習の効率化に関する一考察」中川健司『専門日本語教育研究』(14) pp. 41-46, 2012年12月
- ・「二漢字語を媒介とした介護専門用語学習の有効性—基礎医学術語との比較を通して—」中川健司『東京医科歯科大学国際交流センター紀要』(5) pp.14-22, 2012年11月
- ・「介護福祉士国家試験対応漢字学習ウェブサイトの開発」中川健司・角南北斗『東京医科歯科大学国際交流センター紀要』(4) pp. 2-12 2011年11月
- ・「介護福祉士候補者が国家試験を受験する上で必要な漢字知識の検証」中川健司『日本語教育』(147) pp. 79-92 2010年12月
- ・「基礎医学術語を学ぶ上で優先的に学習すべき漢字の選定—二漢字語及び基礎医学術語中の出現漢字傾向調査を基に—」中川健司『日本語教育』(145) pp. 61-70 2010年4月

3. 科研費実績

- ・基盤研究(C)平成24年度～26年度、課題番号24520581

研究代表者：中川健司

研究分担者：中村英三(長野大学)、宮本秀樹(常磐大学)、布尾勝一郎(佐賀大学)

研究協力者：角南北斗(フリーランス)、齊藤真美(関西国際大学)、山岸周作(上田福祉敬愛学院)

研究課題名：EPA介護福祉士候補者を対象とした国家試験受験に向けた漢字学習ウェブサイトの開発

4. 学会発表・他

4-1 学会発表

- ・「自律学習に向けた漢字語彙学習ウェブサイト『介護の漢字サポーター—インドネシア語版』」中川健司・角南北斗・齊藤真美・布尾勝一郎 2013年度日本語教育学会秋季大会 2013年10月13日
- ・「漢字学習ウェブサイト『介護の漢字サポーター』開発過程で直面した課題」中川健司・中村英三・角南北斗・齊藤真美・布尾勝一郎・宮本秀樹・山岸周作 第37回日本語教育方

法研究会 2013年3月10日

・「介護用語におけるカタカナ語の様相」 中川健司 第15回専門日本語教育学会研究討

論会 2013年3月2日

・「社会福祉士国家試験科目における学習支援にかかる一考察—科目ポジショニングマップ
を活用して—」 中川健司・中村英三・宮本秀樹 第59回日本社会福祉学会 2011年10月
8日

・「介護福祉士国家試験における科目別学習漢字選定の試み」 中川健司・中村英三・角南北
斗・齊藤真美 第13回専門日本語教育学会研究討論会 2011年3月5日

4-2 ウェブサイト運営

・「介護の漢字サポーター 英語版」 <<http://kaigo-kanji.com>> (2012年8月～)

・「介護の漢字サポーター インドネシア語版」 <<http://kaigo-kanji.com/?language=id>>
(2013年8月～)

・「介護のことばサーチ」 <<http://kaigo-kotoba.com>> (2014年3月～)

②社会活動

・FY2012 AIU (国際教養大学) President's Project 学外分担者

③学内活動

1. 学内委員

・全学教育部会委員 (2013年10月～)

・留学生センターサーバー管理責任者 (2013年10月～)

2. 留学生センター内委員

・教務担当 (2013年8月～)

・コンピュータ・広報委員 (2013年10月～)

3. 日本語部内業務

・YNUスピーチ大会2013実行委員長 (2013年度)

・JOYプログラム日本語教育コーディネーター